

第11回 パートナーシップ会合

2. 基準策定標準化事業

2.-2 標準化

平成30年12月19日

日本ロボット工業会 (JARA)

日本福祉用具・生活支援用具協会 (JASPA)

標準化とは？

品質の確保

安全・安心の確保

互換性の確保

生産効率の向上、相互理解の推進、技術普及

(日本規格協会資料より)

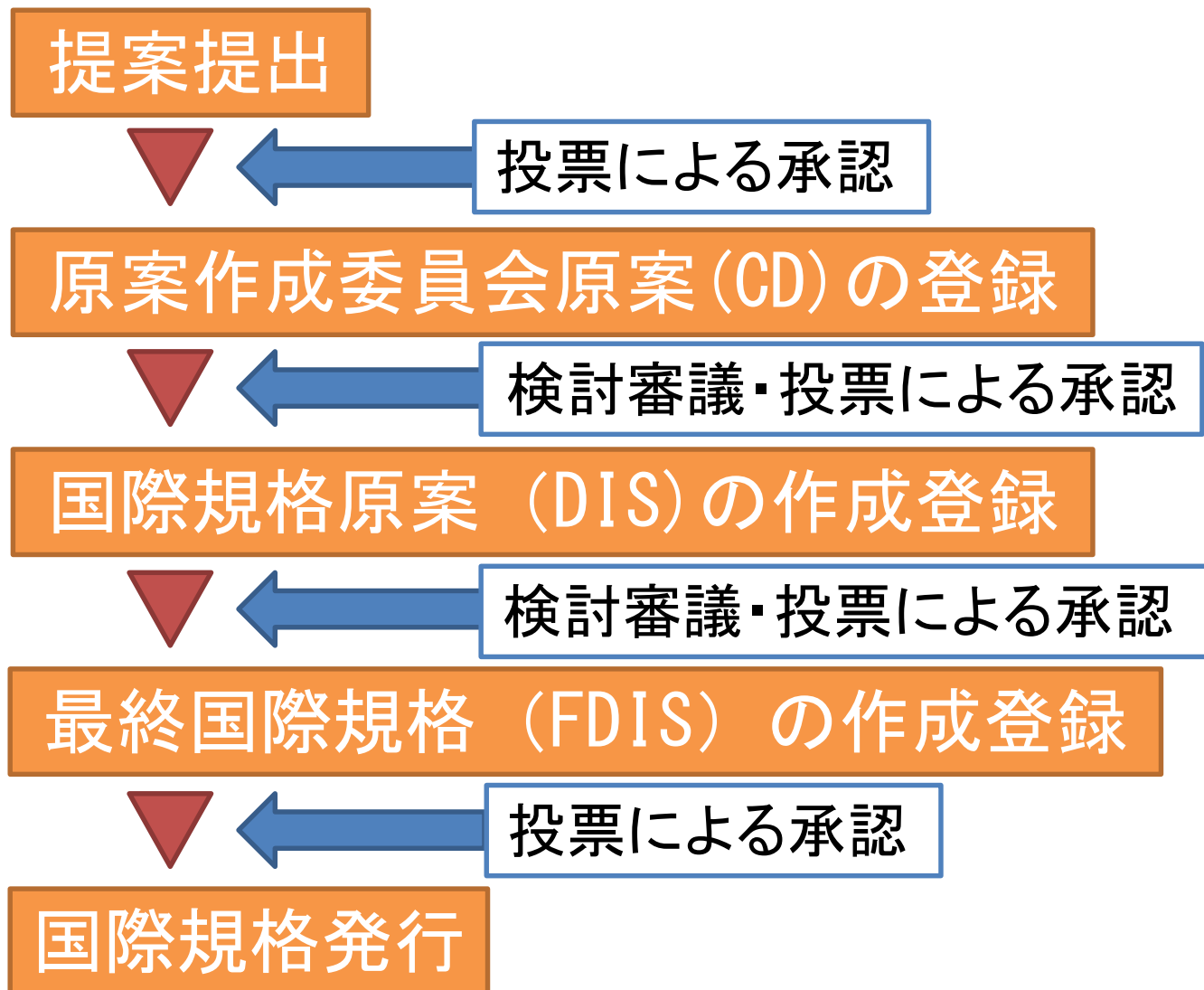
国際標準の組織

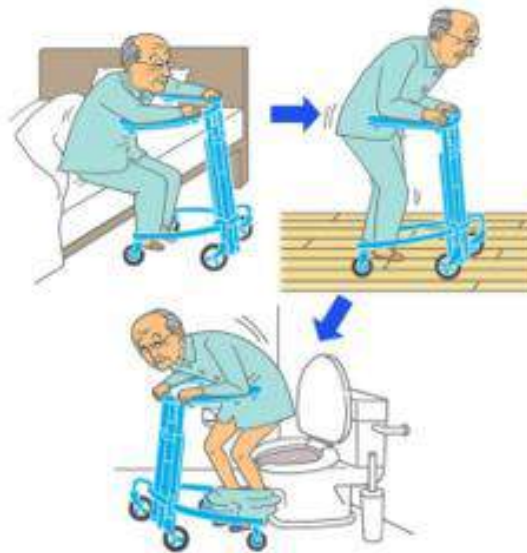
1. ISO (国際標準化機構)

2. IEC (国際電気標準会議)

3. ITU-T (国際電気通信連合)

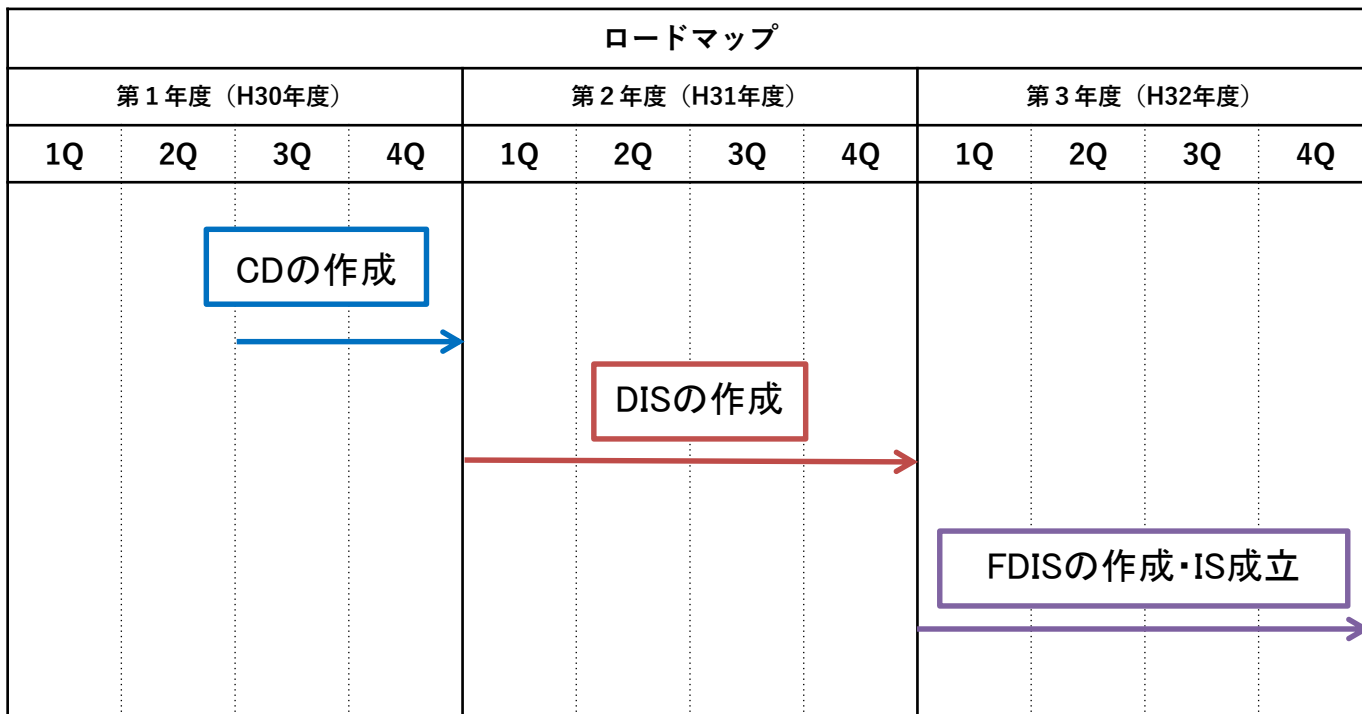
国際規格開発の概要



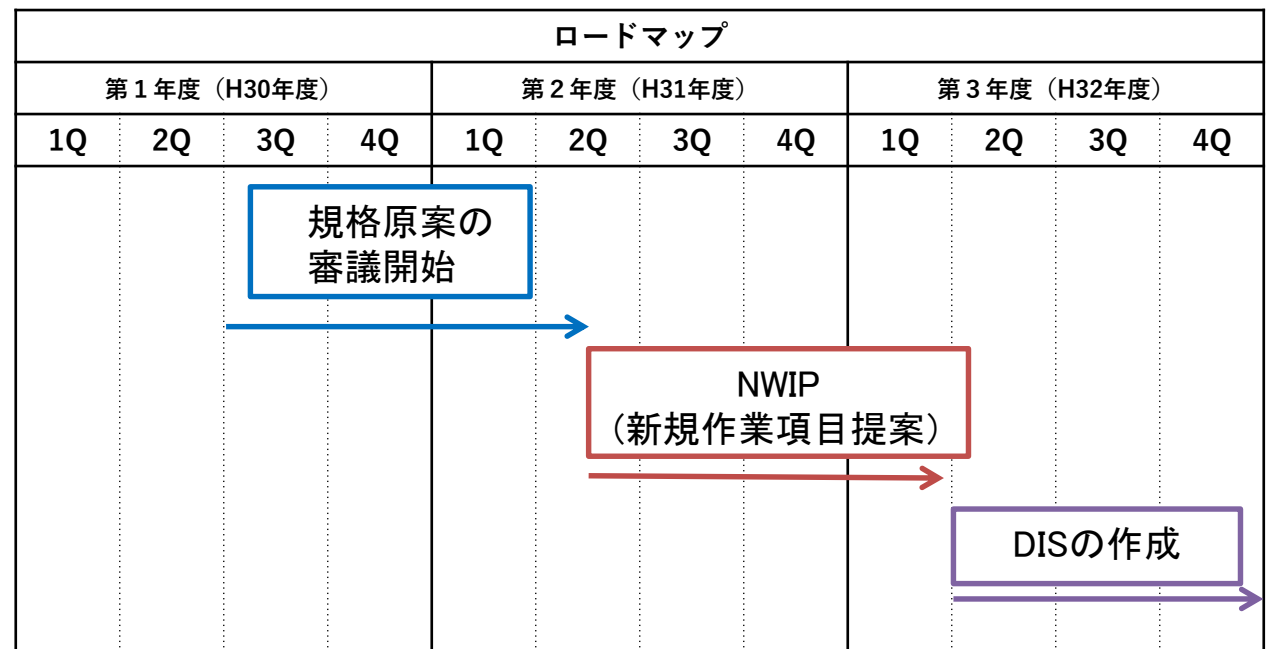


ロボット介護機器通則

- ISO/TC173/WG12(福祉用具一般通則)に
ISO21856(福祉用具一般通則)の
ロボット介護機器条項として提案。



- ISO/TC299(ロボティクス)/WG2に提案する。



ISO提案後のステップ(1/2)

段 階	作成する文書	略 称	
予備段階	Primary Work Item	PWI	
提案段階	New Work Item (新規提案)	NP	
作成段階	Working Draft (作業原案)	WD	
委員会段階	Committee Draft (委員会原案)	CD	12か月
照会段階	Draft International Standard (照会原案)	DIS	18か月
承認段階	Final Draft I.S. (最終原案)	FDIS	30か月
発行段階	International Standard (国際規格)	IS	36か月

ISO提案後のステップ(2/2)

段 階	省略可否	投 票	投票期間	条 件
提案段階 (NP)	必須	要	3ヶ月	単純過半数 最低5ヶ国
作成段階 (WD)	省略可	省略可		
委員会段階 (CD)	省略可	委員会決定	通常3ヶ月	投票数 2/3以上
照会段階 (DIS)	必須	要	通常3ヶ月	賛成2/3以上 反対1/4以下
承認段階 (FDIS)	省略可		通常2ヶ月	
発行段階 (IS)				FDISから 6ヶ月
定期見直し		5年ごと	5ヶ月	単純過半数

標準化活動へ参加することのメリット

国際標準の獲得

➡ 標準化を活用し、国際市場における優位な事業展開

- 自社特許の国際標準への組み込み
- 競合他社の情報入手の場であり、その情報に基づく自社のビジネス戦略に活用できる